



## 2020年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年5月18日  
上場取引所 東

上場会社名 住友ゴム工業株式会社  
コード番号 5110 URL <http://www.srigroup.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 悟  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 大川 直記 TEL 078-265-3000  
四半期報告書提出予定日 2020年5月19日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2020年12月期第1四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	190,794	△9.7	2,575	△54.7	2,753	△54.0	△3,403	-	△32,050	-
2019年12月期第1四半期	211,283	△0.6	5,681	△60.2	5,987	△57.3	2,855	△62.8	7,440	-

(注) 事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益	売上収益 事業利益率
	円 銭	円 銭	%
2020年12月期第1四半期	△12.94	-	1.3
2019年12月期第1四半期	10.85	-	2.7

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第1四半期	976,382	435,376	421,413	43.2	1,602.31
2019年12月期	1,035,484	475,537	460,800	44.5	1,752.07

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 四半期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年12月期第1四半期	16,716	△12,848	7,379	68,243
2019年12月期第1四半期	18,784	△19,171	3,668	78,489

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	-	25.00	-	30.00	55.00
2020年12月期	-	-	-	-	-
2020年12月期（予想）	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2020年2月13日に公表した連結業績予想をいったん取り下げ、未定とすることに伴い、配当予想につきましても未定とさせていただきます。今後、連結業績予想の算出が可能となった時点で、改めて開示いたします。

### 3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	-	-	-	-	-	-	-	-	-
通期	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、現時点では合理的な連結業績予想の算出が困難であることから、2020年2月13日に公表した第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想をいったん取り下げ、未定とさせていただきます。今後、連結業績予想の算出が可能となった時点で、改めて開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
 新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年12月期1Q	263,043,057株	2019年12月期	263,043,057株
2020年12月期1Q	40,410株	2019年12月期	39,499株
2020年12月期1Q	263,003,240株	2019年12月期1Q	263,007,910株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想に関する記述は、当社及び当社グループが現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、当社及び当社グループの事業を取り巻く様々な要因の変化により、記述されている業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おさください。

なお、上記予想の前提条件その他の関連する事項については、四半期決算短信【添付資料】P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率
	百万円	百万円	%
売上収益	211,283	190,794	△9.7
タイヤ事業	181,721	163,186	△10.2
スポーツ事業	20,165	17,351	△14.0
産産品他事業	9,397	10,257	9.2
事業利益又は 事業損失(△)	5,681	2,575	△54.7
タイヤ事業	4,290	2,077	△51.6
スポーツ事業	857	△397	—
産産品他事業	528	887	67.9
調整額	6	8	—
営業利益	5,987	2,753	△54.0
親会社の所有者に 帰属する四半期利益又は 親会社の所有者に 帰属する四半期損失(△)	2,855	△3,403	—

(注) 事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

## 為替レートの前提

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減
1米ドル当たり	110円	109円	△1円
1ユーロ当たり	125円	120円	△5円

当第1四半期連結累計期間(2020年1月1日～2020年3月31日)の世界経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により景気が急速に悪化し、経済活動の大幅な停滞に見舞われました。

わが国経済においても、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、個人消費や輸出、生産の減少に加えて雇用情勢も弱含みとなるなど、景気は急速に悪化し、先行きも厳しい状況となりました。

当社グループを取り巻く情勢につきましては、天然ゴム価格や石油系原材料価格は下落し、低位に推移しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による急速な景気の悪化により、販売環境は大きく悪化したことに加え、ユーロ及び新興国通貨安が進行したこともあり、非常に厳しい状況で推移しました。

このような情勢のもと、当社グループは、2025年を目標年度とした「新中期計画」の実現に向けて、経営基盤の強化と収益力の向上を目指して様々な対策に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による需要の減退が大きく、厳しい事業運営を強いられる展開となりました。

この結果、当社グループの売上収益は190,794百万円(前年同期比9.7%減)、事業利益は2,575百万円(前年同期比54.7%減)、営業利益は2,753百万円(前年同期比54.0%減)となり、税金費用を計上した後の最終的な親会社の所有者に帰属する四半期損失は3,403百万円(前年同期は2,855百万円の利益)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

## (タイヤ事業)

タイヤ事業の売上収益は、163,186百万円(前年同期比10.2%減)、事業利益は2,077百万円(前年同期比51.6%減)となりました。

国内新車用タイヤは、納入車種拡大によるシェアアップや低燃費タイヤを中心とする高機能商品の拡販を進めましたが、自動車メーカーの生産台数が減少したことから、売上収益は前年同期を下回りました。

国内市販用タイヤは、新商品「VEURO VE304」をはじめとする「ダンロップ」ブランドの低燃費タイヤを中心に、高機能商品の拡販を推進いたしました。暖冬の影響による冬タイヤの販売が前年同期を下回ったことに加え、新型コロナウイルス感染症による影響を受け市場が低迷したことにより、売上収益は前年同期を下回りました。

海外新車用タイヤは、中国を中心に自動車メーカーの工場稼働停止及び減産の影響により、売上収益は前年同期を下回りました。

海外市販用タイヤは、アジア・大洋州地域では、特に中国において新型コロナウイルス感染症の感染拡大阻止に向けた大規模な都市封鎖が行われ、需要は大きく落ち込みました。また、欧州・アフリカ地域及び米州地域においても、同様に、新型コロナウイルス感染症の影響により、市場が低調となったことから、売上収益は前年同期を下回りました。

以上の結果、タイヤ事業の売上収益は前年同期を下回り、事業利益も減益となりました。

(スポーツ事業)

スポーツ事業の売上収益は、17,351百万円(前年同期比14.0%減)、事業損失は397百万円(前年同期は857百万円の利益)となりました。

ゴルフ用品は、「ゼクシオ イレブン」「ゼクシオ エックス」が国内外で好調なスタートを切りましたが、新型コロナウイルス感染症に伴うイベント中止や自粛ムード、ロックダウン等の影響を受け、国内外ともに売上収益は前年同期を下回りました。

また、テニス用品も同様に、売上収益は前年同期を下回りました。

ウェルネス事業でも新型コロナウイルス感染症予防対策でスポーツクラブの一時休業を実施したこと等により、売上収益は前年同期を下回りました。

以上の結果、スポーツ事業の売上収益は前年同期を下回り、事業損失となりました。

(産製品他事業)

産製品他事業の売上収益は、10,257百万円(前年同期比9.2%増)、事業利益は887百万円(前年同期比67.9%増)となりました。

医療用精密ゴム部品や制振ダンパー、インフラ系商材、手袋が堅調に推移したことから、産製品他事業の売上収益は前年同期を上回り、事業利益も増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

	前連結会計年度	当第1四半期 連結会計期間	増減
	百万円	百万円	百万円
資産合計	1,035,484	976,382	△59,102
資本合計	475,537	435,376	△40,161
親会社の所有者に 帰属する持分	460,800	421,413	△39,387
親会社所有者帰属 持分比率(%)	44.5	43.2	△1.3
1株当たり親会社 所有者帰属持分	1,752円07銭	1,602円31銭	△149円76銭

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は次のとおりであります。

資産合計は、季節要因による営業債権及びその他の債権の減少などにより、前連結会計年度末に比べて59,102百万円減少し、976,382百万円となりました。

負債合計は、営業債務及びその他の債務の減少などにより、前連結会計年度末に比べて18,941百万円減少し、541,006百万円となりました。

また、当第1四半期連結会計期間末の資本合計は435,376百万円と、前連結会計年度末に比べて40,161百万円減少し、うち親会社の所有者に帰属する持分は421,413百万円、非支配持分は13,963百万円となりました。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は43.2%、1株当たり親会社所有者帰属持分は1,602円31銭となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を合理的に算出することが困難であることから、2019年12月期決算発表時(2020年2月13日)の予想をいったん取り下げ、未定とさせていただきます。今後、連結業績予想の算出が可能となった時点で、改めて開示いたします。

## 第2四半期連結累計期間(2020年1月1日～2020年6月31日)

	今回予想	前回発表予想	増減	増減率	(ご参考) 前年同期実績
	百万円	百万円	百万円	%	百万円
売上収益	—	430,000	—	—	429,279
タイヤ事業	—	366,500	—	—	367,277
スポーツ事業	—	44,500	—	—	42,935
産産品他事業	—	19,000	—	—	19,067
事業利益	—	16,500	—	—	16,482
タイヤ事業	—	13,000	—	—	12,504
スポーツ事業	—	2,500	—	—	2,802
産産品他事業	—	1,000	—	—	1,166
調整額	—	—	—	—	10
営業利益	—	16,500	—	—	16,457
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	—	8,000	—	—	6,322

## 為替レートの前提

	今回予想	前回発表予想	増減	(ご参考) 前年同期実績
1米ドル当たり	—	110円	—	110円
1ユーロ当たり	—	120円	—	124円

## 通期(2020年1月1日～2020年12月31日)

	今回予想	前回発表予想	増減	増減率	(ご参考) 前期実績
	百万円	百万円	百万円	%	百万円
売上収益	—	910,000	—	—	893,310
タイヤ事業	—	784,000	—	—	767,551
スポーツ事業	—	85,000	—	—	84,705
産産品他事業	—	41,000	—	—	41,054
事業利益	—	55,000	—	—	53,878
タイヤ事業	—	47,500	—	—	46,183
スポーツ事業	—	4,000	—	—	4,282
産産品他事業	—	3,500	—	—	3,397
調整額	—	—	—	—	16
営業利益	—	54,000	—	—	33,065
親会社の所有者に 帰属する当期利益	—	35,500	—	—	12,072

## 為替レートの前提

	今回予想	前回発表予想	増減	(ご参考) 前期実績
1米ドル当たり	—	110円	—	109円
1ユーロ当たり	—	120円	—	122円

上記の予想は、発表日現在において当社及び当社グループが入手可能な情報から得られた判断に基づいており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は、当社及び当社グループの事業を取り巻く様々な要因の変化により、記述されている業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産</b>		
流動資産		
現金及び現金同等物	60,631	68,243
営業債権及びその他の債権	190,261	160,295
その他の金融資産	1,314	1,337
棚卸資産	182,769	179,524
その他の流動資産	25,079	26,136
流動資産合計	460,054	435,535
非流動資産		
有形固定資産	420,924	395,640
のれん	26,547	25,077
無形資産	43,445	41,680
持分法で会計処理されている投資	4,258	4,312
その他の金融資産	33,440	27,649
退職給付に係る資産	29,352	29,619
繰延税金資産	14,798	14,713
その他の非流動資産	2,666	2,157
非流動資産合計	575,430	540,847
資産合計	1,035,484	976,382



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>負債及び資本</b>		
負債		
流動負債		
社債及び借入金	106,644	115,816
営業債務及びその他の債務	127,040	103,557
その他の金融負債	12,446	11,903
未払法人所得税	4,851	3,907
引当金	835	731
その他の流動負債	37,031	36,326
流動負債合計	288,847	272,240
非流動負債		
社債及び借入金	157,589	162,065
その他の金融負債	49,716	46,053
退職給付に係る負債	21,833	21,378
引当金	1,565	1,828
繰延税金負債	17,570	15,943
その他の非流動負債	22,827	21,499
非流動負債合計	271,100	268,766
負債合計	559,947	541,006
資本		
資本金	42,658	42,658
資本剰余金	39,486	39,486
利益剰余金	444,783	433,465
自己株式	△75	△76
その他の資本の構成要素	△66,052	△94,120
親会社の所有者に帰属する持分合計	460,800	421,413
非支配持分	14,737	13,963
資本合計	475,537	435,376
負債及び資本合計	1,035,484	976,382

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
(要約四半期連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上収益	211,283	190,794
売上原価	△155,407	△139,049
売上総利益	55,876	51,745
販売費及び一般管理費	△50,195	△49,170
事業利益	5,681	2,575
その他の収益	935	1,271
その他の費用	△629	△1,093
営業利益	5,987	2,753
金融収益	891	317
金融費用	△1,978	△6,596
持分法による投資利益	5	56
税引前四半期利益又は税引前四半期損失 (△)	4,905	△3,470
法人所得税費用	△1,987	255
四半期利益又は四半期損失 (△)	2,918	△3,215
四半期利益又は四半期損失 (△) の帰属		
親会社の所有者	2,855	△3,403
非支配持分	63	188
四半期利益又は四半期損失 (△)	2,918	△3,215
1株当たり四半期利益又は 1株当たり四半期損失 (△)		
基本的1株当たり四半期利益又は 基本的1株当たり四半期損失 (△) (円)	10.85	△12.94

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期利益又は四半期損失 (△)	2,918	△3,215
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	390	△3,387
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△17	△93
在外営業活動体の換算差額	4,149	△25,355
税引後その他の包括利益	4,522	△28,835
四半期包括利益	7,440	△32,050
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	7,483	△31,496
非支配持分	△43	△554
四半期包括利益	7,440	△32,050

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2019年1月1日時点の残高	42,658	39,487	441,062	△69	△74,482	△391
会計方針の変更			△991			
修正再表示後の残高	42,658	39,487	440,071	△69	△74,482	△391
四半期利益			2,855			
その他の包括利益					4,255	△17
四半期包括利益合計	—	—	2,855	—	4,255	△17
自己株式の取得				△1		
自己株式の処分		△0		0		
配当金			△6,575			
利益剰余金への振替			75			
資本剰余金への振替						
所有者との取引額合計	—	△0	△6,500	△1	—	—
2019年3月31日時点の残高	42,658	39,487	436,426	△70	△70,227	△408

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			合計		
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計			
2019年1月1日時点の残高	9,662	—	△65,211	457,927	14,880	472,807
会計方針の変更			—	△991	△12	△1,003
修正再表示後の残高	9,662	—	△65,211	456,936	14,868	471,804
四半期利益			—	2,855	63	2,918
その他の包括利益	390		4,628	4,628	△106	4,522
四半期包括利益合計	390	—	4,628	7,483	△43	7,440
自己株式の取得			—	△1		△1
自己株式の処分			—	0		0
配当金			—	△6,575	△342	△6,917
利益剰余金への振替	△75		△75	—		—
資本剰余金への振替			—	—		—
所有者との取引額合計	△75	—	△75	△6,576	△342	△6,918
2019年3月31日時点の残高	9,977	—	△60,658	457,843	14,483	472,326

当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2020年1月1日時点の残高	42,658	39,486	444,783	△75	△76,471	△278
四半期損失(△)			△3,403			
その他の包括利益					△24,613	△93
四半期包括利益合計	—	—	△3,403	—	△24,613	△93
自己株式の取得				△1		
自己株式の処分		△0		0		
配当金			△7,890			
利益剰余金への振替			△25			
資本剰余金への振替		0	△0			
所有者との取引額合計	—	—	△7,915	△1	—	—
2020年3月31日時点の残高	42,658	39,486	433,465	△76	△101,084	△371

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			合計		
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計			
2020年1月1日時点の残高	10,697	—	△66,052	460,800	14,737	475,537
四半期損失(△)			—	△3,403	188	△3,215
その他の包括利益	△3,387		△28,093	△28,093	△742	△28,835
四半期包括利益合計	△3,387	—	△28,093	△31,496	△554	△32,050
自己株式の取得			—	△1		△1
自己株式の処分			—	0		0
配当金			—	△7,890	△220	△8,110
利益剰余金への振替	25		25	—		—
資本剰余金への振替			—	—		—
所有者との取引額合計	25	—	25	△7,891	△220	△8,111
2020年3月31日時点の残高	7,335	—	△94,120	421,413	13,963	435,376

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期利益又は税引前四半期損失(△)	4,905	△3,470
減価償却費及び償却費	17,135	16,986
受取利息及び受取配当金	△500	△304
支払利息	1,663	1,484
持分法による投資損益(△は益)	△5	△56
棚卸資産の増減額(△は増加)	△7,934	△5,584
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	16,511	24,641
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△9,379	△17,555
その他	2,372	3,659
小計	24,768	19,801
利息の受取額	454	248
配当金の受取額	10	17
利息の支払額	△1,423	△1,395
法人所得税の支払額	△5,025	△1,955
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,784	16,716
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△17,543	△12,102
有形固定資産の売却による収入	26	129
無形資産の取得による支出	△1,796	△860
投資有価証券の売却による収入	152	—
事業譲受による支出	△110	—
その他	100	△15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,171	△12,848
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	19,293	12,195
社債の発行及び長期借入れによる収入	—	8,000
社債償還及び長期借入金の返済による支出	△6,054	△1,422
リース負債の返済による支出	△2,653	△3,284
配当金の支払額	△6,575	△7,890
非支配持分への配当金の支払額	△342	△220
その他	△1	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,668	7,379
現金及び現金同等物に係る換算差額	682	△3,635
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,963	7,612
現金及び現金同等物の期首残高	74,526	60,631
現金及び現金同等物の四半期末残高	78,489	68,243

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高意思決定機関である取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、タイヤ事業、スポーツ事業及び産業品他事業の3つの事業を基礎として組織が構成されており、各事業単位で、国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、「タイヤ事業」「スポーツ事業」「産業品他事業」を報告セグメントに分類しております。

各報告セグメントに属する主要な製品・サービス又は事業内容は、次のとおりであります。

報告セグメント	主要な製品・サービス又は事業内容
タイヤ	タイヤ・チューブ（自動車用、建設車両用、産業車両用、レース・ラリー用、 モーターサイクル用等） オートモーティブ事業（パンク応急修理剤、空気圧警報装置等）
スポーツ	スポーツ用品（ゴルフクラブ、ゴルフボール、その他ゴルフ用品、テニス用品等）、 ゴルフトーナメント運営、 ゴルフスクール・テニススクール運営、 フィットネス事業、他
産業品他	高機能ゴム事業（制振ダンパー、OA機器用精密ゴム、医療用精密ゴム等） 生活用品事業（炊事・作業用手袋、車椅子用スロープ等） インフラ事業（防舷材、工場用・スポーツ施設用各種床材等）

## 2. 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報

セグメント間売上収益は市場価格等を考慮した仕切価格に基づいております。

報告セグメントの数値は事業利益ベースの数値であります。

報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報は次のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間（自 2019年1月1日 至 2019年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	調整額 (注2)	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	タイヤ	スポーツ	産産品他			
外部顧客からの売上収益	181,721	20,165	9,397	211,283	—	211,283
セグメント間売上収益	315	49	266	630	△630	—
合計	182,036	20,214	9,663	211,913	△630	211,283
セグメント利益 (事業利益) (注1)	4,290	857	528	5,675	6	5,681
その他の収益及び費用						306
営業利益						5,987

注1 セグメント利益（事業利益）は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

注2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等が含まれております。

当第1四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	調整額 (注2)	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	タイヤ	スポーツ	産産品他			
外部顧客からの売上収益	163,186	17,351	10,257	190,794	—	190,794
セグメント間売上収益	177	43	230	450	△450	—
合計	163,363	17,394	10,487	191,244	△450	190,794
セグメント利益又は セグメント損失(△) (事業利益) (注1)	2,077	△397	887	2,567	8	2,575
その他の収益及び費用						178
営業利益						2,753

注1 セグメント利益又はセグメント損失(△)（事業利益）は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

注2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等が含まれております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。